

平成24年4月9日

与謝野町

第3回与謝野町庁舎統合検討委員会の結果について（速報）

標記委員会を開催しましたので、以下のとおりお知らせします。

日 時 平成24年4月4日（水）午後1時30分から午後4時40分
場 所 知遊館 2階会議室
委員出席 19名（欠席者なし）
町出席 太田町長（堀口副町長は公務出張のため欠席）
奥野総務課長、佐賀福祉課長、泉谷保健課長、
西原建設課長、和田教育委員会次長
浪江企画財政課長ほか事務局職員6名
傍聴者 12名
会議結果 主な内容は、以下のとおりです。

<開会>

事務局から委員の出席状況と、町側の出席者を報告。

なお、町長は議論に参画をする立場ではなく、委員の意見交換を直接聞かせていただきたい思いで出席している旨を説明。

議題は前回の会議での意見を踏まえ、3点を予定している旨説明し開会。

<委員長あいさつ>

村山委員長からあいさつ

<議事>

(1) まちづくりアンケート結果について

事務局から資料に基づき説明し、委員から以下の質疑がありました。

○年代別の回答率について、若い世代の回答率が少ないことの指摘

(2) 職員数の今後の推移（見込み）について

事務局から資料に基づき説明し、委員からは以下のような質疑がありました。

なお、参考に将来の人口推計（国立社会保障・人口問題研究所）についても説明。

- 庁舎内の職員数はわかったが、臨時職員等の人数はどうなっているか。
- 職員は徐々に減らしているのはわかるが、臨時職員が増えている傾向を指摘。
- 職員人件費と臨時職員賃金について、合併後の動向はどうなっているか。
- 行政改革の推進には職員数の削減はもちろんだが、公共施設の統廃合も大事な視点であることの指摘。
- 臨時職員のスペースも庁舎の必要面積に加える必要があるのか。
- 職員の数は減らしても仕事の量は減らない。臨時職員を雇用しているようだがこのような傾向は他の自治体もそうであるのか。
- 職員数の推移(見込み)は地域振興課の廃止など課の再編等を考慮に入れたものか。
- 職員を減らすことも大事だが、組織・機構等を変えることによる合理化も必要ではないか。
- 庁舎統合説明会時点での目標数と整合しないのではないか。
- 保育所等出先の新規採用見込みが大きく減っているが現実的にできるのか。
- 庁舎だけではなく出先機関の機構改革も重要。
- 人口について、月時で公表される人口と国勢調査人口と相違するのはなぜか。

(3) 町の案(たたき台)等の意見交換について

委員からは以下のような質疑がありました。

- 町の案では東日本大震災の教訓を受けた審議がされていないように思うが。
- 総合庁舎にすることが防災体制の強化になるとは思えない。
- 昼間の消防団員が少ない中、総合庁舎にして全職員が集まると火事の際に団員である職員がすぐに現場に向かうことができなくなる。防災体制の面からだけ考えれば分庁舎方式がベターである。
- 消防団員を如何に有効に活用するか、行政としても真剣に考えてほしい。
- 仮に総合庁舎が加悦庁舎となった場合、岩滝地域と野田川地域の防災対策が大きな課題となる。
- 有事の際の要支援者など、地域でもわかっているようでわかっているケースがあると聞く。それらを網羅したマップづくりが必要だ。
- 災害時に、庁舎が一つであれば一つのライン(指揮命令系統)がとれると思う。
- 防災に限って言えば、3地域に庁舎があった方がいい。一つの庁舎が壊れても残った庁舎で対応できるなど、分散している方がベストである。更に言えば、中心地に一つの庁舎があるのが最も望ましい。
- パニック状態になった場合を想定すると一つの命令系統の中で枝別れをした対応がよいのではないか。
- 情報が集めやすい、人が集まりやすいということも考えて検討すべき。
- 防災面だけでいえば、既存の庁舎を活用するのであれば3庁舎に分かれて運用し

ている現在のやり方がよいと考えている。

- 平成合併において全国の多くの事例があり、分庁舎方式としている合併自治体もあると思うが、それらのその後の状況はどうなっているか。
- アンケート調査ではサービスが低下したと感じている率が下がり、逆にサービスが向上したと感じている率が上がっている。これは現状の分庁舎方式でよいと考えていることではないのか。
- 町の家では、職員の利便性しか聞こえてこない。町民は現状に不便を感じていないと思う。庁舎が加悦の方に行けば不便を被る人が増えると考えられる。
- 加悦に庁舎が行った場合、野田川、岩滝の高齢者などはどのような足の確保が考えられるのか。
- 先進地でのコミュニティバスは30分間隔のダイヤで便利がよいと聞かすが、当町のひまわりバスの現状では朝行って夜帰ってくるしかない。
- サービスが低下すると言われるが、窓口以外でここに行きたいという方がどのくらいあるのか。窓口業務は各地域に配置されると聞いている。
- 障害者の皆さんの声を聞いてみたが、福祉課や保健課は加悦にあるので不便だと思っていたら、加悦には行ったことがなく、地域振興課で用を済ませてもらっているので、このような機能やサービスがしてもらえればよいのではないか。庁舎はどこに持って行っても人によって遠い近いが出てくる。どうしても本庁に行かなければならない場合は、地域間のシャトルバスを実施するなど、その手段を考えていただければよいと思う。
- 今後の議論のために、窓口業務の件数のほか、可能な限り各課の受付業務内容を資料で示してもらいたい。庁舎統合にかかるコスト評価や移動手段であるひまわりバスの導入経費、運営費用もお願いしたい。公共交通（バス）で地域間移動のできる時間帯や便数、料金などのデータも示してほしい。
- ひまわりバスを走らせるより、公共交通を使いやすく支援する方がよいと思う。
- 免許の自主返納補助について、返納後はずっと補助がしてもらえるとといった誤解があるようだが、説明が願いたい。
- 1200万円の削減効果とあるが、他の効果額も含め、可能な限り数字として示してもらいたい。
- 今後の議論の方向として、総合庁舎となった場合、他の庁舎をどのように利用するかということを視野において検討してほしい。
- 「役場はお役にたつところ」（役にたたなければならないところ）とあるが、町の責任だけではなく、住んでいる方の責任についても考えなければならない。ほしいばかりでは駄目である。
- 「役場はお役にたつところ」とあるのは、顧客目線から言うと上から目線であると感ずる。公務員は全体の奉仕者であるはず。

<その他>

特になし。

次回会議を、5月17日(木)午後1時30分から開催(場所は未定)、議題は町の案(たき台)等について引き続き意見交換を行うことが確認されました。

副委員長の閉会挨拶があり閉会。

<問い合わせ先>

与謝野町企画財政課

TEL 0772-46-3084

FAX 0772-46-4630